



南友部からドローンで撮影した風景

KASAMA

市長 コラム

文 / 笠間市長 山口 伸樹

生活インフラの 維持

市民が生活をしていくうえで必要な社会インフラとして、道路・水道・下水道・橋梁きょうりょうなどがあります。

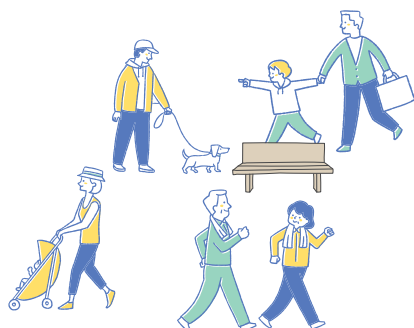
これらの公共インフラの持続的維持が、人口減少社会の中で全国的に大きな課題となっています。

本市においても、市道の延長距離が約1,500キロメートル、水道管路が867キロメートル、下水道管路（農業集落排水を含む）が473キロメートル、橋が4.5キロメートルと認定されています。道路などの補修や草刈り、上下水道管の老朽化に伴う布設替えなどを現在進めていますが、延長距離が長く、先が見込めない状況であります。

公共インフラの整備・維持管理は、生活維持のために不可欠なものです。国の進める広域化や公民連携などの議論、コスト縮減など、さまざまな角度から進めていきます。

一方、道路、橋梁など交通状況の変化に伴い、廃道や廃止も今後は検討をしていくことも必要だとも思っています。

次の世代に大きな負担を残すことがないようにしていくのが一番と考えます。



ご協力
お願いします！



アンケートはこちら
(いばらき電子申請・届出サービス)

高齢者が安心して散歩できる公園でありながら、子ども達も生物多様性などの学習の場として利用できる、健康維持と学びの場となるような公園としての整備を検討しています。

ぜひ、上の二次元コードのアンケートから皆様のご意見をお聴かせください！

問 観光課（内線 516）



北山公園展望塔とローラーすべり台

今月の

Pick up

北山公園に関する
アンケートにご協力ください。